
ビッグデータ活用による旅客流動分析 実証実験事業 第三回報告会 「ふじさんゼロゴミアクション」

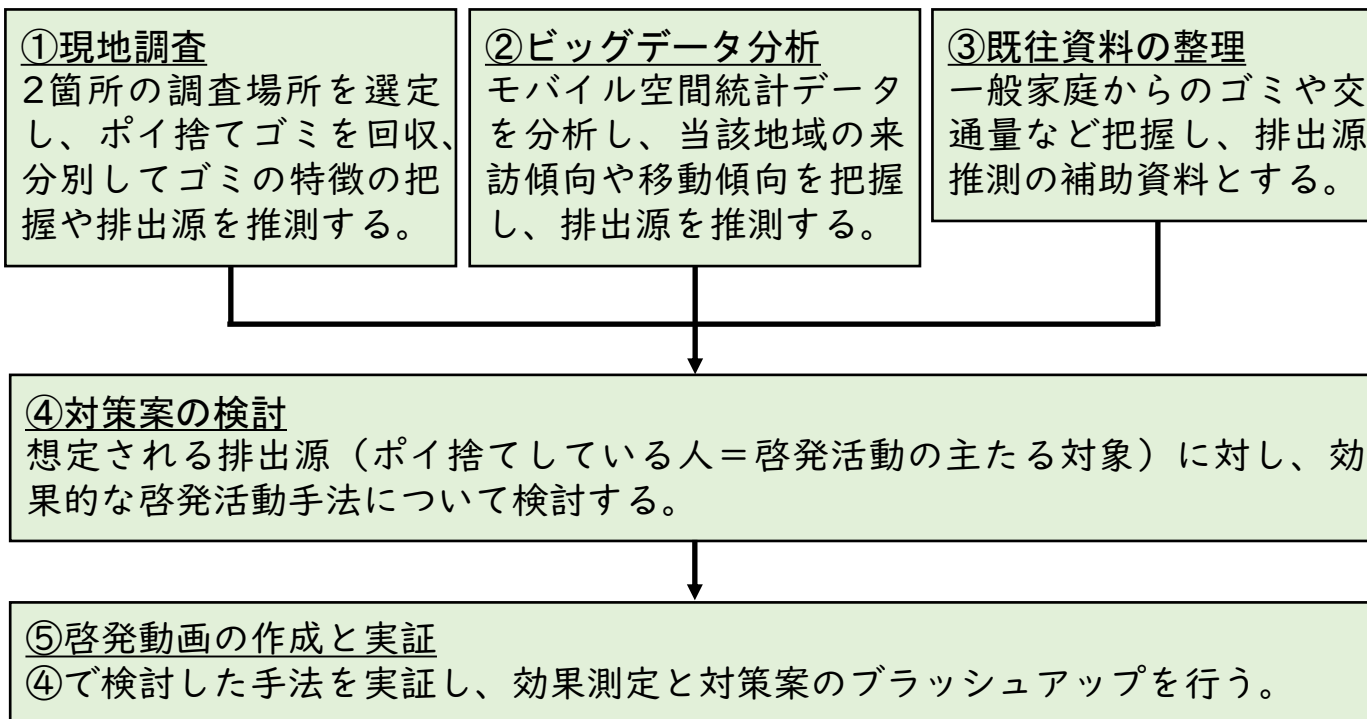
一般社団法人マウントフジトレイルクラブ、株式会社ケー・シー・エス

本事業の概要

【事業目的】

富士山周辺におけるゴミのポイ捨てについて、ビッグデータや現地調査などを用い、人流とポイ捨ての関連性について把握・分析し、効果的な清掃活動や広報活動などに繋げることで、効果的に課題解決を図り、**将来的な「ゼロゴミ」を目指す**ものです。

【実証内容】



解決を目指す課題の概要

【現状】

世界遺産登録後の富士山は、例年国内外からの20万人以上の登山者が訪れ、局所的にゴミが増える期間や場所があります。例えば、お盆休み期間の数日は、登山者が集中し登山道に飲食のゴミや登山に使った用品等が急激に増えます。また、五合目を訪れる観光客が捨てるタバコの吸殻や飲食ゴミが大量に捨てられて問題になっています。他にも夏だけではなく、富士山周辺に年間3,000万人の観光客が訪れると言われ、麓の観光地も同様にゴミの問題を抱えています。

具体的には、**富士山の周回を繋ぐ国道沿いや峠道の斜面には頻繁にゴミが投げ捨てられていて、拾っても拾っても、またすぐに捨てられることが繰り返されています。**

【ポイ捨てゴミの多い場所】

◆ 国道をはじめとした道路沿いのパーキングポイント周辺（通年）

特に大型トラックが駐車可能なところに多く、道路（駐車帯）外に捨てられている現状が見受けられます。

◆ 5合目以降（夏季登山シーズン）

5合目では登山者以外も、5合目以降は登山者からの排出が多いと考えられます。

【考えられる要因】

1. トラック運転手や観光客など、「捨てる場所がない（わからない）」ため
2. 樹海など木々が生い茂っているところが多く「見えにくいところ」があるため
3. 登山者にとって、「荷物を軽くしたい」という思いがあるため

実証実験の取組内容

【課題の背景（仮説）と取組み内容】

富士山周辺におけるゴミのポイ捨ての背景として、「**トラック運転手や観光客などが“ゴミを捨てる場所がない（わからない）”という可能性**が考えられます。

このようなことを防ぐため、啓発活動が重要と考えますが、当該地域は国立公園内にあり、景観などを保護するため、看板の設置などが制限されており、また、元々人家の少ない地域でもあるため、効果的な広報が打てない現実もあります。

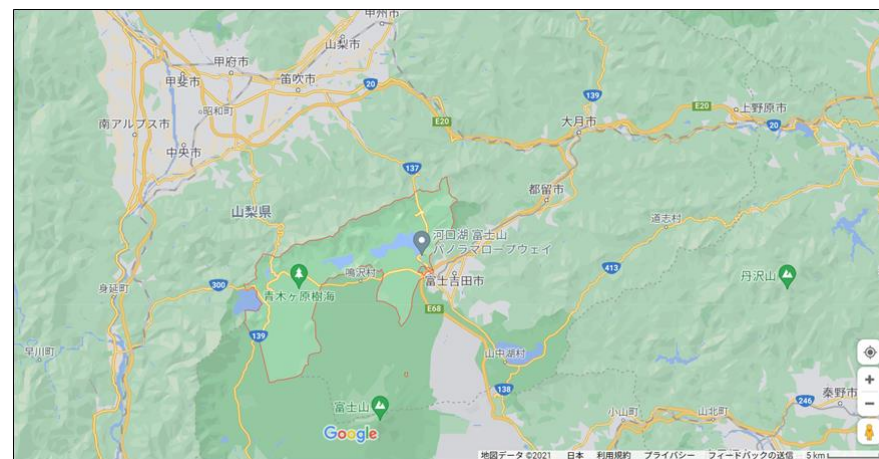
本事業では、**様々な統計データやビッグデータ、現地調査によりゴミの排出源を想定し、ピンポイントで効果的な啓発活動をする手法を検討すべく実施した**ものです。

【選定地域】

山梨県富士河口湖町

（理由）

河口湖、西湖、本栖湖など富士五湖のうち三湖があり、毎年外国人を含め数多くの観光客が訪れており、いわゆる「オーバーツーリズム」が課題となっていました。また、国道139号線は静岡県と首都圏を結ぶバイパス的な役割を持っており業務目的の来訪者も多いことが想定され、ゴミのポイ捨てが富士山周辺でも特に問題となっている地域です。



分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

【分析手法と分析結果】

①現地調査

<目的>

ポイ捨てゴミの量及び質を把握することで、排出源を特定することを目的に実施します。また、「ゴミの捨てやすさ」に繋がる周辺環境（交通環境、植生の状況、ゴミ箱の設置有無、物品販売有無など）も把握します。

<手法>

調査場所に人員を配置し、ポイ捨てゴミを回収し、数量及び重量を記録しました。

<調査結果>

●ポイ捨てゴミの特徴

飲食に関するゴミが圧倒的に多く、食事や休憩で出たゴミがほとんどと思われます。排出源（者）は業務等の目的での域外からの来訪者と思われます。

●周辺環境

「目立たないこと」が粗大ごみのポイ捨ての要因になっていることが推測されます。

●周辺情報

休憩場所の情報が周知されていないことも考えられます。

●その他

アルコール飲料や尿入りペットボトルなど、通常では考えられないゴミも数多く見つかっており、モラルが問われるとともに、栄養ドリンクなども合わせて多いことから、トラック運転手の労働環境も影響していることが考えられます。

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

(回収したゴミの量)

数量(単位:個)						
	12月22日			12月23日		
	71号線展望台付近(上り)			71号線展望台付近(下り)		
	内側	外側	計	内側	外側	計
タバコ類	124	18	142	340	36	376
弁当殻	29	43	72	35	128	163
飲料瓶	24	30	54	24	35	59
飲料缶	49	72	121	99	129	228
飲料ペットボトル	19	22	41	45	56	101
その他瓶・缶・ペットボトル	8	3	11	1	5	6
紙類	37	21	58	63	46	109
プラスチック類	163	104	267	292	213	505
粗大ゴミ・家電	3	1	4	1	3	4
産業廃棄物	3	3	6	8	12	20
海外ゴミ	0	0	0	0	0	0
BBQゴミ	0	0	0	3	0	3
おしっこボトル	1	3	4	2	4	6
マスク	7	0	7	4	5	9
布	0	0	0	4	5	9
ライター	1	0	1	3	3	6
せともの	0	0	0	0	1	1
財布(プラ)	0	0	0	0	1	1
ガラス片	0	0	0	14	0	14
電池	0	0	0	2	0	2
(合計)	468	320	788	940	682	1,622

重量(単位:kg)		
	12月22日	12月23日
	71号線展望台付近(上り)	71号線展望台付近(下り)
可燃ごみ	13.8	26.8
ビン・カン	18.6	22.6
不燃ごみ	25.1	2.2
粗大ごみ	0.0	52.2
(合計)	57.5	103.8

数量(単位:個)						
	1月23日			1月24日		
	139号線本栖チェーン脱着所付近(上り)			139号線本栖チェーン脱着所付近(下り)		
	内側	外側	計	内側	外側	計
タバコ類	155	0	155	178	9	187
弁当殻	22	44	66	29	86	115
飲料瓶	18	23	41	11	19	30
飲料缶	84	129	213	75	160	235
飲料ペットボトル	34	51	85	24	59	83
その他瓶・缶・ペットボトル	1	0	1	20	11	31
紙類	46	23	69	106	50	156
プラスチック類	344	226	570	318	128	446
粗大ゴミ・家電	5	0	5	0	0	0
産業廃棄物	34	18	52	21	15	36
海外ゴミ	0	0	0	0	0	0
BBQゴミ	0	0	0	0	0	0
おしっこボトル	6	16	22	11	36	47
マスク	5	0	5	0	2	2
布	10	2	12	1	2	3
ライター	0	1	1	5	7	12
せともの	2	0	2	0	1	1
財布(プラ)	0	0	0	1	0	1
ガラス片	30	0	30	4	0	4
電池	0	1	1	0	0	0
猫砂	0	0	10	0	10	0
(合計)	796	534	1,340	804	595	1,389

重量(単位:kg)		
	1月23日	1月24日
	139号線本栖チェーン脱着所付近(上り)	139号線本栖チェーン脱着所付近(下り)
可燃ごみ	18.5	33.9
ビン・カン	14.8	20.6
不燃ごみ	6.1	33.8
粗大ごみ	0.0	0.0
(合計)	39.4	88.3

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

(調査の様子)



分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

【分析手法と分析結果】

②ビッグデータ分析

<目的>

ゴミのポイ捨てが発生しているエリアの人流を把握することで、排出源(者)を推測することに役立てることにします。

<手法>

モバイル空間統計データを以下の視点で整理・分析しました。

- ①月別の滞在傾向
- ②時間帯別の滞在傾向
- ③移動手段別の滞在傾向
- ④居住地・国籍別の滞在傾向

<データ概要>

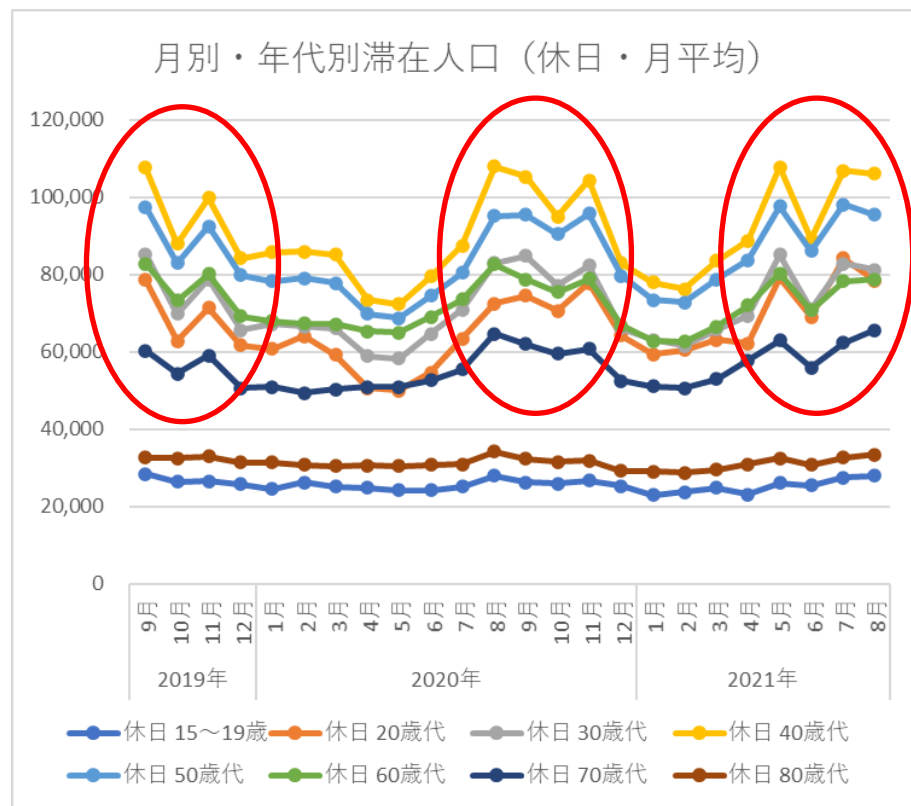
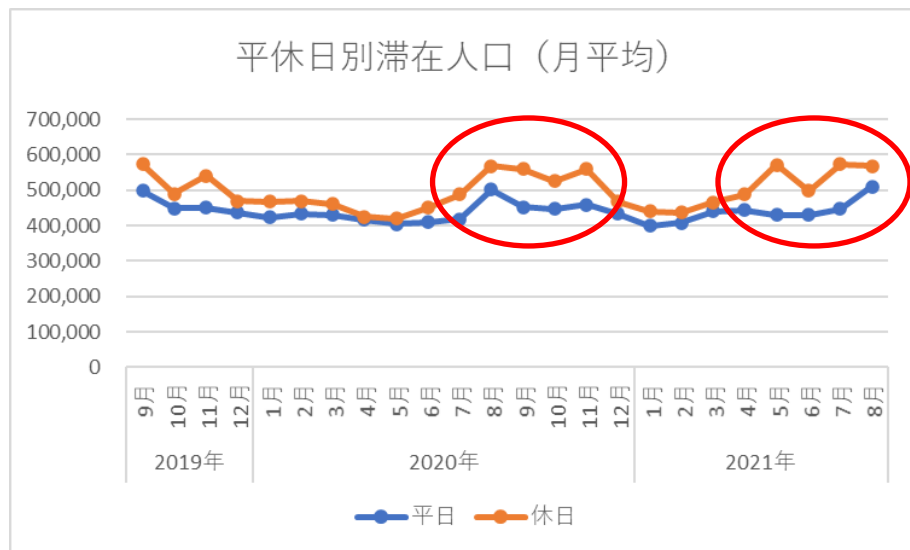
滞在人口	
エリア	山梨県富士河口湖町を中心とした鳴沢村及び富士吉田市の一部を含むエリア
対象	日本人及び外国人
期間	(日本人) 2019年9月～2021年8月(平休日別平均×24か月) (外国人) 2019年9月～2020年2月(平休日別平均×7か月)
時間	1時間ごと24区分(訪日外国人は昼間・夜間の2区分)
属性	総数、性年代別人数(日本人のみ)、居住地・国籍別人数

移動手段	
エリア	山梨県富士河口湖町を中心とした鳴沢村及び富士吉田市の一部を含むエリア
対象	日本人のみ
期間	2021年8月(1か月)・平休日別平均
時間	1時間ごと24区分
属性	発着別交通手段(自動車、鉄道、新幹線、徒歩)

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<分析結果(国内分布統計)>

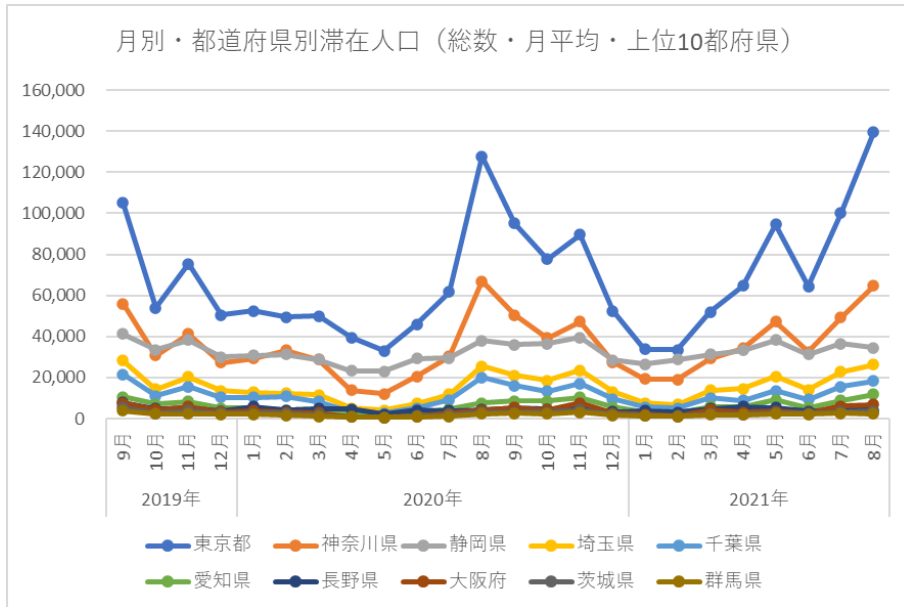
- ◆全体に、季節変動はあるものの、コロナ禍による減少はほとんど見られず、むしろ、休日においては、やや増加している傾向も見られます。
- ◆季節別では、夏季から秋季が増えており、この傾向は休日ほど見られるため、この増加分の多くは域外からの来訪者と考えられます。
- ◆これらより、域外からの来訪者について、平日は8月、休日は8～11月が特に多く、40から60歳代がその多くを占めていることがわかります。



分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<分析結果 (国内分布統計) >

- ◆平日は夏季、休日は夏季及び秋季で、東京都・神奈川県居住で、新型コロナによる増減が大きいと見られることから、その多くは業務目的ではなく、観光目的の来訪者と考えられます。
- ◆山梨県内の隣接自治体が多いが、その中でも東京都区部からの来訪者も多いことがわかります。



自治体名	平日		休日		休日/平日比
	順位	滞在人口	順位	滞在人口	
山梨県鳴沢村	1	1,005,355	1	1,052,479	1.05
山梨県富士吉田市	2	978,371	2	784,318	0.80
静岡県富士宮市	3	190,663	3	200,041	1.05
山梨県都留市	4	97,176	5	91,888	0.95
山梨県忍野村	5	80,939	9	67,325	0.83
山梨県甲府市	6	70,164	6	85,608	1.22
山梨県身延町	7	68,028	7	69,685	1.02
山梨県笛吹市	8	54,390	12	46,759	0.86
山梨県山中湖村	9	49,628	15	39,527	0.80
東京都世田谷区	10	49,199	4	109,898	2.23
山梨県西桂町	11	40,629	35	26,203	0.64
東京都八王子市	12	34,784	10	63,270	1.82
東京都杉並区	13	33,589	8	68,561	2.04
山梨県甲斐市	14	33,162	17	37,353	1.13
山梨県南アルプス市	15	29,188	20	35,346	1.21
山梨県大月市	16	27,300	31	27,567	1.01
東京都練馬区	17	26,637	11	49,255	1.85
静岡県富士市	18	26,275	13	46,008	1.75
山梨県甲州市	19	20,579	60	19,436	0.94
山梨県山梨市	20	19,919	48	20,924	1.05
東京都大田区	23	18,650	14	42,716	2.29
東京都渋谷区	24	18,335	18	37,237	2.03
東京都新宿区	25	17,861	19	37,144	2.08
東京都港区	26	17,402	16	37,528	2.16

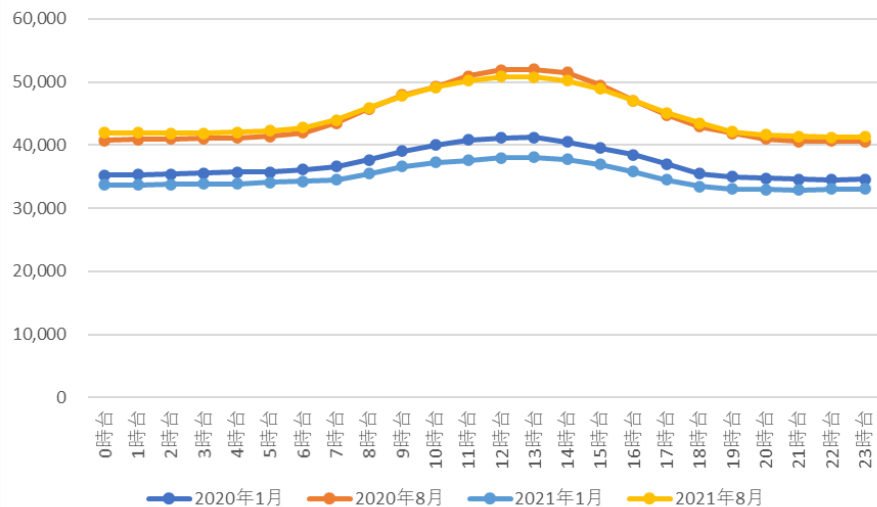
分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<分析結果(国内分布統計)>

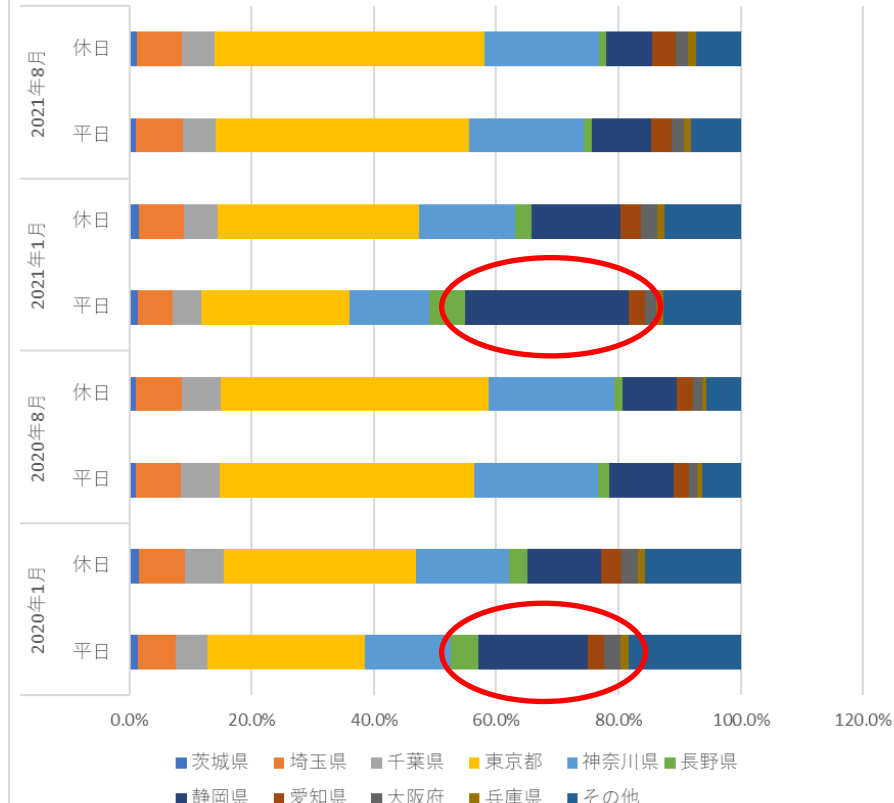
◆全体に、6～7時台から徐々に増加傾向に向かい、12～13時台にピークを迎え、その後徐々に減少傾向となり、17～18時台に底を打っている様子がわかります。この傾向は、8月かつ休日の方が強く、観光目的の来訪者が多くなるためと考えられます。

◆静岡県について、1月平日の「全時間帯」「0～5時台」とも特に大きな割合を占めることがわかりました。1月は富士河口湖町周辺の観光はオフシーズンであり、また、平日であることから、これら静岡県からの来訪者の多くは、業務目的であると考えられます。

時間帯別滞在人口(総数・1月及び8月)



上位10都府県滞在人口(0～5時台合算・1月及び8月)



分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<分析結果(訪日分布統計)>

- ◆中国が突出して多く、次いで東アジア・東南アジアが続き、欧米豪その他各国など、幅広い国籍の人が訪れていることがわかりました。
- ◆日帰り客・宿泊客に分けて見ても、概ね総数と同じ傾向であることがわかり、国籍による滞在スタイルの違いはあまりないものと考えられます。

総数							
国籍	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	(合計)
中華人民共和国	25,291	26,611	30,272	21,714	29,500	2,290	135,678
タイ	6,909	11,979	16,606	16,359	15,862	15,736	83,451
台湾	7,491	7,654	11,429	8,574	10,006	4,751	49,905
香港	4,150	4,236	7,874	8,122	6,713	3,576	34,671
インドネシア	1,113	2,319	3,917	5,264	4,678	2,120	19,411
アメリカ合衆国	2,807	2,796	3,848	2,606	2,171	1,118	15,346
マレーシア	454	1,433	2,613	3,644	2,025	1,159	11,328
フィリピン	581	1,284	2,119	3,007	1,947	1,338	10,276
オーストラリア	1,868	1,659	1,326	1,730	1,574	675	8,832
シンガポール	508	790	2,572	3,634	791	358	8,653
ベトナム	920	1,926	1,755	897	1,308	489	7,295
イギリス	1,477	2,173	1,100	430	363	405	5,948
カナダ	932	1,073	1,041	957	588	306	4,897
大韓民国	593	538	472	420	713	323	3,059
インド	1,112	211	474	124	100	74	2,095
ドイツ	425	711	475	108	116	169	2,004
カンボジア	183	84	459	330	585	188	1,829
ロシア	150	301	720	101	202	120	1,594

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<分析結果(移動手段分析)>

- ◆全時間帯で分担率を見ると、「自動車」が圧倒的に高く、次いで「鉄道」となりました。
- ◆時間帯別に見ると、特に深夜帯で「自動車」が高く、朝夕は「鉄道」の割合が多少高くなることわかりました。なお、深夜時間帯に「徒歩のみ」や「鉄道」がわずかながらも観測されることについて、本データが8月のデータであり、富士登山客などが一定数いるためと考えられます。(早朝に宿泊施設を出発(到着)するなど)
- ◆平休日別に見ると、全体の傾向は同じですが、特に平日の深夜帯(1~4時台)は、自動車の分担率が100%となっており、業務目的の交通が多いものと考えられます。

分担率(総数)																								
	0時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台
徒歩のみ	10.8%	9.9%	6.4%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	1.1%	1.8%	2.5%	2.8%	3.4%	2.9%	3.1%	1.8%	3.1%	4.9%	2.3%	2.4%	3.4%	3.9%	4.3%
自動車	85.9%	88.3%	93.6%	96.3%	94.0%	93.0%	80.9%	81.2%	83.9%	83.5%	84.9%	84.5%	82.8%	81.0%	83.3%	83.3%	83.5%	80.8%	81.8%	83.1%	84.8%	86.8%	89.3%	92.2%
鉄道	3.3%	1.8%	0.0%	3.7%	3.1%	7.0%	19.1%	18.1%	15.6%	15.5%	13.3%	13.0%	14.5%	15.7%	13.8%	13.5%	14.7%	16.0%	13.4%	14.6%	12.8%	9.8%	6.8%	3.6%
分担率(平日)																								
	0時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台
徒歩のみ	13.9%	9.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.9%	0.8%	1.9%	3.0%	3.7%	4.1%	2.6%	2.2%	2.3%	2.6%	3.1%	2.1%	4.0%	2.9%	6.0%	2.7%
自動車	80.9%	90.1%	100.0%	100.0%	100.0%	93.1%	78.9%	80.0%	82.7%	84.4%	85.0%	85.0%	82.1%	80.8%	83.6%	83.7%	82.7%	80.2%	82.7%	83.2%	84.6%	87.0%	87.2%	94.1%
鉄道	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	21.1%	18.8%	16.5%	14.8%	13.1%	12.0%	14.2%	15.1%	13.8%	14.1%	15.0%	17.1%	14.1%	14.7%	11.3%	10.1%	6.8%	3.3%
分担率(休日)																								
	0時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台
徒歩のみ	8.4%	9.9%	10.3%	0.0%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.8%	2.1%	2.0%	2.8%	3.1%	4.0%	1.3%	3.8%	6.7%	2.4%	1.4%	3.9%	1.7%	5.7%
自動車	89.8%	86.7%	89.7%	94.8%	89.3%	92.9%	84.2%	83.3%	85.4%	82.7%	84.7%	84.0%	83.4%	81.1%	83.1%	83.0%	84.4%	81.5%	80.7%	83.1%	84.8%	86.7%	91.4%	90.5%
鉄道	1.8%	3.4%	0.0%	5.2%	5.6%	7.1%	15.8%	16.7%	14.6%	16.1%	13.5%	13.8%	14.6%	16.1%	13.7%	13.0%	14.3%	14.7%	12.6%	14.5%	13.8%	9.5%	6.9%	3.8%

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<分析結果(まとめ)>

●コロナ禍による来訪者数への影響

富士河口湖町においては、コロナ禍による来訪者数について、外国人旅行者以外は大きな変化はなかったものと考えられます。

●来訪時期

平日は8月、休日は8～11月に多くなる傾向が見られます。

●来訪者の属性

居住地は東京都や神奈川県を中心とした首都圏、年齢は40～60歳代が多く、来訪者の多い夏季や秋季は、観光目的の人が多くと考えられます。東京都区部からの来訪者が多く、この傾向は休日に特に顕著です。長野県や大阪府居住者も訪れており、この2府県は時期や平休日による変化が少ないため、観光目的ではない人が一定程度含まれていると考えられます。

●来訪時間帯

来訪者数の下限が20～0時頃になることが多く、深夜時間帯はわずかではあるものの増加傾向にあることがわかりました。業務目的で訪れている人の割合が多いことが推測されます。

●訪日外国人

国籍は中国を中心に東アジア圏が多いものの、幅広い国籍の人が訪れており、この傾向は日帰り・宿泊問わず同様であることがわかりました。

●移動手段

交通分担率は、自動車が90%以上を占め、徒歩のみ・鉄道のみは数%に留まることがわかりました。自動車での流入出について、平日・休日問わず、深夜時間帯にも一定数観測されていることから、富士登山客や業務目的で訪れている人がいるものと思われます。

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

【分析手法と分析結果】

③既往資料（一般廃棄物処理事業実態調査・道路交通センサス）の整理

●一般廃棄物処理事業実態調査

<目的>

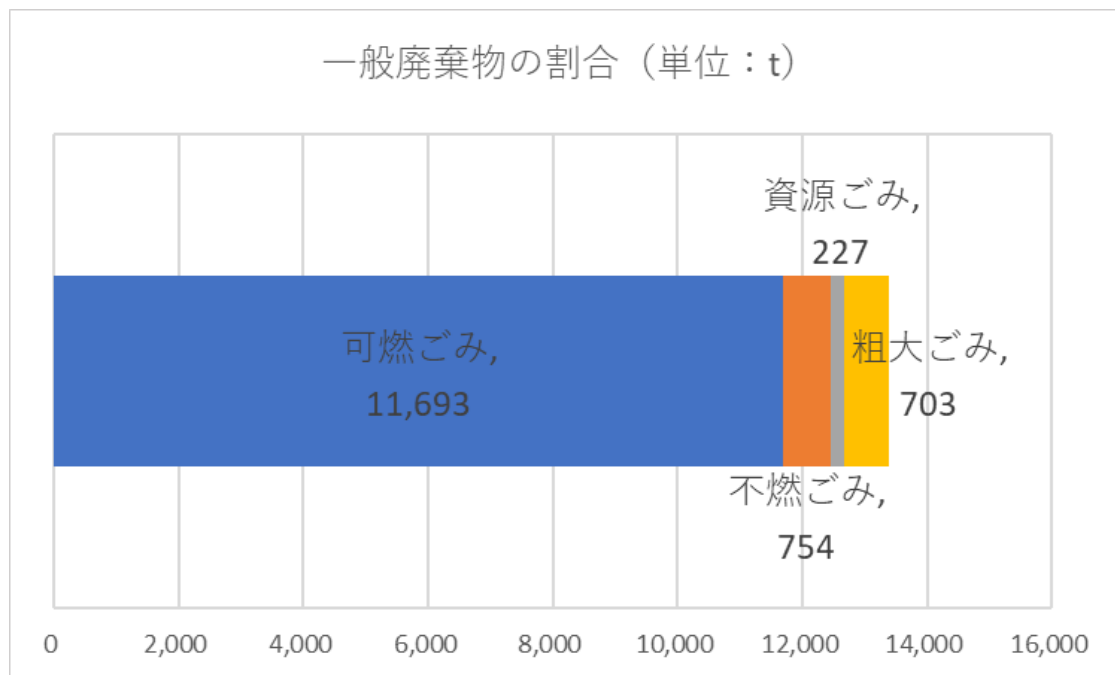
調査対象地域における一般的なゴミの排出状況を把握することで、ポイ捨てゴミの特徴を明らかにするために実施しました。

<手法>

令和元年度一般廃棄物処理事業実態調査結果及び担当者ヒアリングにより、情報を整理・分析しました。

<分析結果>

ゴミの割合では可燃ごみが圧倒的に多いものの、資源ごみはスーパーマーケットなどによる回収（ポイント付与）もあり、また、富士河口湖町ではゴミ収集は粗大ごみを含め無料であることから、町民によるゴミのポイ捨て可能性は低いことがわかりました。



分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

【分析手法と分析結果】

③既往資料（一般廃棄物処理事業実態調査・道路交通センサス）の整理

● 道路交通センサス

<目的>

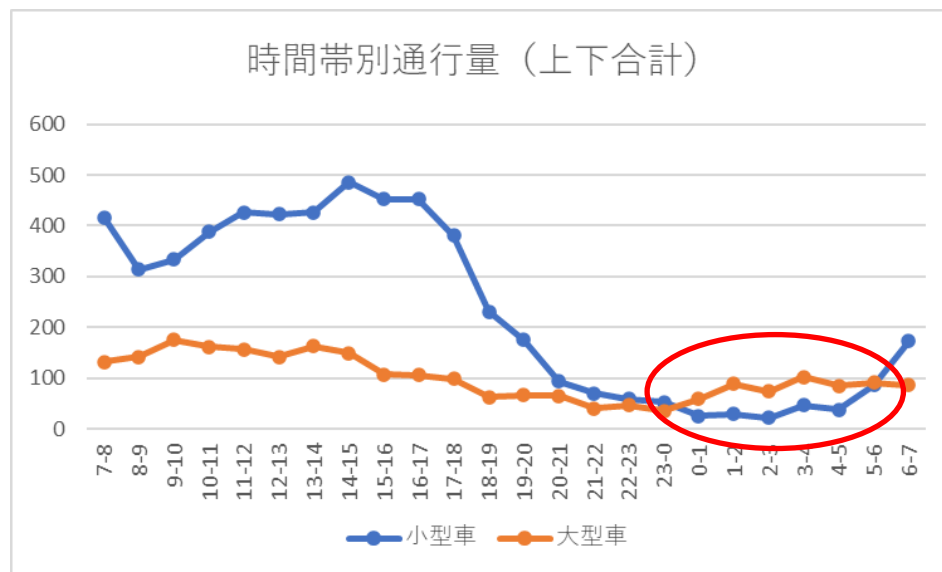
ビッグデータ分析において、交通手段のうち「車」は、「乗用車」（＝主に私用で利用）なのか「商用車」（＝主に業務用で利用）なのか区別できないため、実施しました。

<手法>

平成27年全国道路・街路交通情勢調査結果を整理・分析しました。

<分析結果>

国道139号線は、比較的交通量もあり、昼間は小型車2に対して大型車1程度の割合ですが、**夜間は大型車の方が多くなる時間帯もあり、深夜時間帯はその傾向が顕著であること**がわかりました。また、深夜時間帯に通行する場合、周辺で深夜時間帯に営業している施設等（例：工場、物流センターなど）がないことから、**富士河口湖町周辺が目的地ではなく、より遠方が目的地である可能性が高いこと**もわかりました。



分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

【課題解決方策の検討結果】

＜各調査・分析結果のまとめ＞

調査	結果まとめ
現地調査	<ul style="list-style-type: none">・排出源（者）は業務等の目的での域外からの来訪者が多い。・「目立たないこと」が粗大ごみのポイ捨ての要因。・休憩場所の情報が周知されていない。・トラック運転手の労働環境も影響している。
ビッグデータ分析	<ul style="list-style-type: none">・来訪者数について、訪日外国人以外は影響が少なかった。・平日は8月、休日は8～11月に来訪者が多い。・居住地は東京都・神奈川県を中心とした首都圏が多く、東京都区部が特に多い。・長野県、静岡県、大阪府などは業務目的の来訪者が多い。・年齢は40～60代が多い。・深夜時間帯にて一定程度の来訪者が多く、富士登山客や業務目的の人が多い。・幅広い国籍の訪日外国人が訪れている。
既往資料の整理	<ul style="list-style-type: none">・町民によるポイ捨ての可能性は低い。・夜間は大型車の割合が多く、深夜時間帯は特に顕著で、富士河口湖町周辺ではなく、別な場所（より遠方）が目的地のようです。

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<課題解決方策>

1. ペルソナA

【属性概要】

関西・東海方面在住、50歳代、トラック運転手

【ポイ捨て心理】

めんどくさい、どうせバレないだろう

【具体的対策案】

(本人に対する対策)

- ・ 事業所が所在する地域のトラック協会等への呼びかけ
- ・ 通過する車両への継続的な呼びかけ(地域ができる対策)
- ・ ゴミ箱や監視カメラの設置
- ・ 休憩スペースの確保及び周知

2. ペルソナB

【属性概要】

近隣在住、20歳代、現業職

【ポイ捨て心理】

汚いものは早く捨てたい、(悪いことだとわかってはいるが)人が見ていないならいいだろう

【具体的対策案】

(本人に対する対策)

- ・ 情報媒体を通じた呼びかけ
 - ・ 環境等への将来に渡る悪影響の呼びかけ
- (地域ができる対策)
- ・ 枝葉の伐採などによる見通しの確保
 - ・ 子育て環境の充実

分析手法詳細と分析結果(課題解決方策の検討結果も含む)

<課題解決方策>

3. . ペルソナ C

【属性概要】

首都圏在住、30歳代、デスクワーク

【ポイ捨て心理】

捨てること自体に罪悪感が無い、自分には関係ない

【具体的対策案】

(本人に対する対策)

- ・ 犯罪行為であることの周知
- ・ 山火事など災害発生の原因になることの周知
- ・ 環境に対する悪影響は連鎖していることの教育 (例: 学校や職場での環境学習 など)

(地域ができる対策)

- ・ ゴミ回収まで念頭に入れた観光客受入れ
- ・ リユース、リサイクルの促進やレンタル備品の充実

4. ペルソナ D

【属性概要】

近隣在住、40歳代、現業職

【ポイ捨て心理】

目立たないから大丈夫、時間がない

【具体的対策案】

(本人に対する対策)

- ・ 情報媒体を通じた呼びかけ
- ・ 環境等への将来に渡る悪影響の呼びかけ

(地域ができる対策)

- ・ 枝葉の伐採などによる見通しの確保
- ・ ゴミの夜間排出など、朝忙しい人への対応

本事業の結果を踏まえた今後の活動予定について

【本事業後の活動予定】

実施事項	1年後 (次年度)	2年後	3年後	4年後	5年後
1. これまでの活動（清掃活動（毎月）など）の継続					
2. 本事業成果を利用した啓発活動（ポイ捨ての多い時期に複数回/年）					
3. トラック協会などへの展開					
4. 行政、境域現場などへの展開					
5. 他地域への横展開					
6. 「ふじさんゼロゴミ」の達成					

【汎用的な他地域での活用方法】

活動実績や本事業で作成した動画の効果検証など十分に行った上で、同様な地域（例：国立・国定公園 など）に横展開を図ります。具体的には、分析結果や手法の共有、これまでの知見の提供などが考えられます。

広報活動の実施概要及び実施結果

【広報活動の実施概要】

<目的>

ビッグデータ分析や現地調査から、富士河口湖町周辺におけるゴミのポイ捨て源として、首都圏や東海地方からの来訪者が多いと推測されました。このため、これまでのようにポイ捨ての多いエリアでの啓発活動（チラシ配布、看板設置など）では「既にポイ捨てした後」という可能性もあるため、**出発前や日頃からポイ捨てに対する意識を変えてもらう必要がある**と考え、より広く一般に展開できる手法として、**啓発動画を作成**しました。

<作成した動画>

広く見ていただくことが啓発活動に繋がると考え、YouTubeにアップロードしました。

(公開動画URL)

<https://www.youtube.com/watch?v=fVrdVIkO9co>

【広報活動の実施結果】

令和4年3月18日17:00現在で閲覧数365回となっています。

